

一般質問通告書

令和5年9月定例会

質問者	件名	要旨	質問の相手方
吉原信雄	1 学校給食費の無償化について	(1) 学校給食費を無償化した場合の予算額を示せ。 (2) 県内学校給食費の無償化の現状についてどう考えるか。 (3) 本町学校給食費の無償化はできないか。	町長
	2 旧大崎第一中学校跡地活用について	(1) 旧大崎第一中学校跡地活用について	町長
	3 全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果について	(1) 県と本町の結果を示せ。	教育長
岡元修一	1 自主防災組織の技術向上について	(1) 町内の災害警戒地の数をどの様に把握しているか。 (2) 各自主防災組織の災害時の実行性の評価をどの様に考えているか。 (3) 自主防災組織力の向上に向けてどの様に進めていくか。 (4) 防災行政無線受信機の設置状況はどの様になっているか。 (5) 防災行政無線の有効活用についてどう考えているか。	町長
	2 募金や寄付の社会貢献について	(1) 各団体の活動目的を問う。 (2) 収入の推移はどうなっているか。 (3) 募集の方法はどの様に行っているか。 (4) 公平な情報の伝達についてどの様に考えるか。	町長
草原正和	1 人口対策について	(1) 大崎町の現在の人口と今後の推移について、どのように把握しているか。 (2) 今後の人口推移の予測と町長の人口推移の目標値を示せ。 (3) 定住促進事業を示せ。 (4) 人口減少対策の施策を示せ。 (5) 陸上の聖地大崎を目指すにあたり、少子化はどのような影響があり、どのような問題があるか認識を示せ。	町長

稲留光晴	1 物価高騰から家計を直接救済する実効性ある支援策を求める	(1) 本町独自支援策の拡充を求める。	町 長
	2 基幹産業の家族経営農家を守る対策を求める	(1) 和牛生産農家の実態を示せ。 ●過去5年間の子牛価格とせり上場頭数を示せ。 ●過去5年間の生産農家戸数の推移を示せ。 (2) 肥育農家の実態を示せ。 (3) 養豚農家の実態を示せ。 (4) 養鶏農家の実態を示せ。	町 長
	3 公営・町営住宅について	(1) 入居条件である保証人の確保を見直すべきではないか。	町 長
神崎文男	1 野良猫の取り扱いについて	(1) 本町における野良猫の実態についてどのように把握しているか。 (2) 猫の病気などで気をつけることはないか。 (3) 不妊手術に助成は出来ないか。 (4) 公共の場に捨て猫されたときの対策は。	町 長
	2 用排水路の管理について	(1) 本町の用排水路の長さはどれ位か。 (2) 道路が交差している所の水路の点検。 (3) 安全対策委員会の設置は出来ないか。	町 長 教 育 長
中山美幸	1 児童生徒の安全対策について	(1) 児童生徒の通学時の安全対策は改善されたか。 (2) 新学期に向けた学校生活での快適空間と熱中症対策は確立されているか。	町 長 教 育 長
	2 交通弱者の移動手段確保について	(1) 今までの移動対策議論の検討結果はどの様になっているか、実施案の策定は出来ているか。	町 長
	3 災害時における住民のインフラ整備について	(1) 大規模災害時における住民の生活インフラの整備はどの様に考えているか。	町 長

平田慎一	1 持続可能な農業振興について	<p>(1) 本町の農業政策の現況認識と課題を問う。 (圃場整備について) 小水力発電活用の必要性や農道の舗装整備の考え及び除草作業の対策と現況を問う。(圃場整備場の遺跡や史跡の整備や管理についての状況認識含)</p> <p>(2) 本町を考える食糧安全保障について、肥料・飼料の自主生産や有機作物を使用した学校給食の取り組みを問う。</p> <p>(3) 持続可能な担い手の育成及び耕作放棄地対策について問う。 法人・個人(男女)を問わず、農業の担い手育成の現況と取り組みの方向性は。耕作放棄地への対応と対策及び今後の取り組みは。</p> <p>(4) さつまいも基腐れ病の認識と対応について。</p>	町 長 教 育 長
	2 教育行政について	<p>(1) 通学路の道路整備について(危険箇所)通学路の危険箇所の認識と対応を示せ。</p> <p>(2) 不登校児の現況とその支援状況について。</p> <p>(3) 障害児支援の現況と今後の方向性について。(特別支援学校を含む。)</p>	町 長 教 育 長
藤田香澄	1 有機農業推進について	<p>(1) 本町において有機農業を推進するにあたっての課題をどのように認識、整理されているのか。</p> <p>(2) 令和4年度の施政方針で、「有機農業の推進に向けて組織づくりなど調査・研究を進める」としているが、具体的な調査・研究結果等はあるのか。大崎町内で発生する有機質資材を活用することで、低減できる化成肥料の使用量やそれに応じて抑えられるコストなど、大崎町が有機農業を行うことの資材やコスト面での可能性を可視化することはできないか。</p>	町 長

		<p>(3) 鹿児島県は有機農業が全国的に見ても盛んであり、大隅半島でも周辺地域の有機農業（有機 JAS を取得していないものも含む）実践経営体数及び作付面積の割合は大崎町より高い。周辺地域とともに学ぶ、あるいは有機作物の販路を広域的に検討する方向で、本町でも有機農業の需要喚起ができないか。</p> <p>(4) 有機農業実践エリアを指定して、実験的に取り組みたい農家を募集するような取り組みはどうか。</p> <p>(5) 次年度の予算編成に向けて、有機農業の推進に関して、どのように盛り込む予定か。</p>	
藤田香澄	2 女性の活躍推進事業の進捗について	<p>(1) 第 2 期大崎町総合戦略では、「女性の社会進出をサポートする起業支援事業（2025 年までに起業創業セミナー参加者 50 人）」、「男性育児参加応援モデル事業（2025 年までにモデル事業所整備）」を目標とし、また第 2 次大崎町男女共同参画基本計画において「女性の人材育成とキャリア形成支援」に取り組むと掲げているが、進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 大崎町における女性の活躍推進における課題や、まちづくりへ女性の参画が進むことによる効果をどう捉えているか。</p> <p>(3) 町内の女性のキャリア形成を支援する機会を設けていただきたい。施策としては、講師をお招きしたワークショップ等の実施や女性のチャレンジを応援する性質の支援メニュー設置等が考えられる。例えば、人材育成事業補助金（産業育成）の資格一覧を女性が取得したいと思うものも追加するなどはどうか。</p> <p>(4) 次年度の政策方針として、女性の人材育成とキャリア形成支援をはじめとした男女共同参画基本計画のしっかりとした推進と、実行のための予算確保の検討をいただけないか。</p>	町長